

令和7年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 78

千葉県立佐倉高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 理数系分野に対する強い興味・関心があり、学習活動に主体的・積極的に取り組む生徒
- イ 自ら課題を見出し、探究的な学びを深く進めていくことができる生徒
- ウ 進路希望の実現を目指し、自己を向上させようとする生徒
- エ 部活動・生徒会活動・学校行事等に意欲的に取り組み、学校生活を自ら充実させようとする生徒

2 選抜の資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者5名から8名（受検者数による）・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ8分から10分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔600点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）のうち、数学・理科については得点を1.5倍する傾斜配点を行い、合計600点満点で評価する。

(2) 調査書〔67.5点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=0.5$ を乗じた数値で評価する。 評定2以下の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	いずれかの学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	特に問題がある場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特別活動の記録、部活動の記録、特記事項で、特に顕著な実績がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 特記事項で特に問題がある場合は、審議の対象とする。
オ 総合所見	特に問題がある場合は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔30点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（問題がある）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～b b）で得点化する。

評価b bの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機、 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確で、学習・部活動等に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
イ 質問に対する応答、 身だしなみ・態度	質問の意味をきちんと理解し、明確に回答することができる。 基本的な面接作法が身に付いており、服装・頭髪等の身だしなみが整えられている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝0.5）	面接	
600点	67.5点	30点	697.5点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜の資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。